

## 乗客・乗務員の 「命を守るために」 もっとお金かけなはれ！！

5月16日、のぞみ38号において、車内で刃物を持った男が、乗務員や付近にいた乗客から取り押さえられ、男の身柄を警察に引き渡し、銃刀法違反の疑いで現行犯逮捕されるという事件が発生しました。

「刃物を持っている男がいる」と連絡を受けた女性車掌が、当該の男に注意し、男が抵抗し暴れ出し、周りの乗客とともに取り押さえ、その際に女性車掌が、負傷したということです。（詳細は会社掲示等では未発表です）

負傷された車掌におかれましては、1日でも早い快復をお祈りします。

今回の事件で、思い出されるのは昨年6月30日に起きた「のぞみ225号事件」、車内で男が油をかぶり、ライターで引火し、当該の男と乗客の女性が死亡をはじめ、乗客20数名が重軽傷を負ったことは記憶に新しいことだと思います。

繰り返されるこのような事態に対して、乗客・乗務員の「安全確立」に向けた対策を早急に確立しなければなりません。

**私たちは乗客・乗務員の「命を守るために」会社に対して要求します。**

- 1, 今回の38Aにおける事件の概要を明らかにすること。
- 2, 事件以降のハード・ソフト面の具体的対策を明らかにすること。
- 3, 日常的に「安全最優先」と言うなら、車掌の巡回強化だけでなく、警備会社社員の新幹線乗務警備を全列車、全区間行うこと。
- 4, 同種事件に対しての乗務員としての具体的対応について指導すること。
- 5, 同種事件に対する会社としての訓練を実施すること。

既存の車掌による巡回強化だけでは、凶悪犯罪に遭遇したら太刀打ちできません。それは、カメラを何台取り付けようと同じです。

営利、利便性を犠牲にするなら駅での乗客一人一人の持ち物チェックも必要となります。

**会社は、お金をかけて「格闘技経験者の警備会社社員」による全列車、全区間の乗務・巡回を実施させるべきではないでしょうか！**